

とよなかの市民活動 共同デスク

2017年3月発行第21号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(社福) 豊中市社会福祉協議会
(公財) とよなか国際交流協会
(一財) とよなか男女共同参画推進財団
とよなか市民公益活動協議体らっぴ
(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ 21
(公財) 豊中市スポーツ振興事業団
(第21号担当)
TEL:06-6865-6865 FAX:06-6865-6866

平成28年度(2016年度)を振り返って



とよなか市民公益活動協議体・らっぴ

おでかけの一年

2016年度は「市民活動おでかけ講座」や「おでかけマンスリーサロン」、「おでかけ交流サロン」を通して、さまざまな地域へおでかけした一年となりました。今までの「待ち」の体制から市民活動情報サロンを「飛び出す」ことによって、日ごろ市民活動情報サロンへ来る機会の少ない方や市民活動に触れる機会の少ない方々にも、豊中市内で活動している市民公益活動団体や市民公益活動を知ってもらえる良い機会となりました。

引き続き2017年度もさまざまな場所へ「おでかけ」することで、より多くの方に市民活動を体験していただき、これから何かを始めるきっかけづくりや仲間づくり、交流の場を提供していきます。また、地域の課題が多様化する中で、専門的なスキルを持った市民活動団体が課題解決に向けて活躍できる場が広がることを期待したいと思います。おでかけマンスリーサロンのようす(千里公民館にて)



おでかけマンスリーサロンのようす(千里公民館にて)

(公財) とよなか国際交流協会

大規模災害時における外国人支援
～今後のめざすべき方向とは～



今年度も市民ボランティアや関係団体と協力しながら各事業を実施してきました。1年を通して開催した様々なセミナーの中でも、今回は3月11日に行った「大規模災害時における外国人支援～今後のめざすべき方向とは」をご報告いたします。まず、フィリピン出身で南三陸町在住の佐々木アメリカさんから「東日本大震災の経験から」と題して講演いただき、実際地震があった時の状況や避難先での出来事、日頃から地域の人々との繋がりの大切さを体験に基づきお話しいただきました。次に、「阪神・淡路大震災の取り組み」や「熊本視察」の報告、「豊中市における外国人支援のあり方」についてパネルディスカッションを行い、最後に大阪大学と当協会とで「外国人への多言語での情報提供に関する協定締結式」を行いました。



パネルディスカッションのようす

また、3月17日には豊中市消防北消防署の協力を得て、日本語交流活動のボランティアと外国人学習者、職員、多言語スタッフが防災訓練を実施し、都市部ビルで被災した際の心構えを学びました。来年度も地域の市民や関係機関・団体とつながり、さらに充実して事業ができるようにいたします。

(一財) とよなか男女共同参画推進財団

シングル女性がテーマの
調査研究事業をスタート



すてっぷでは、2014年度から若年女性支援の講座やセミナー、居場所づくりとして「すてっぷおとなGirls部」などに取り組んできました。2017年3月12日(土)には「おとな女子服交換パーティ」を開催。これは「すてっぷおとなGirls部」メンバーが企画運営しています。「女性は結婚して育児も仕事も」という生き方だけではなく、多様な生き方を選択でき、その人らしさと認められ、安心して生活できること、これも男女共同参画社会の実現に向けてめざす一面です。

また、すてっぷでは豊中市の「シングル女性の仕事と暮らし」をテーマに、調査・研究事業を進めています。現在、女性活躍が国によって推進されていますが、そのイメージからこぼれ落ちるのは「非正規・単身・子どもを持たない」女性たち。今まで見えにくかった「シングル女性」の課題をみなさんと共有し、解決するために取り組みます。

(公財) 豊中市スポーツ振興事業団

国際交流センターや介護予防センターでも運動!



2016年度も多くの団体や皆さんと連携し、外国人の方・高齢者の方に向けた新しい取り組みを実施しました。

☆サムライプロジェクト(外国人のための武道体験)

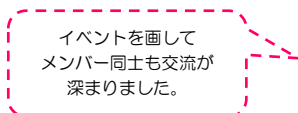
とよなか国際交流協会と連携し、8月・10月に空手道、12月に剣道、3月に合気道を、計4回実施しました。武道という日本文化に触れていただいたことをきっかけに、豊中でもスポーツに親しんでもらえればと思います。



空手道体験のようす

☆介護予防センターイベント(体力測定・脳年齢測定)

豊中市社会福祉協議会と連携し、庄本介護予防センター「ふれあいまつり」、高川介護予防センター「びちびちフェスタ」にて、体力測定(10m障害物歩行・握力など)と脳年齢測定を実施しました。普段、体育施設に來られない高齢者の方がほとんどでしたが、自身の身体に興味・関心を向けていただくことができました。



イベントを画して
メンバー同士も交流が
深まりました。

約1000点の「誰かにもらって欲しいかわいい服」が集まり、参加者同士が好みの服を交換しました。

(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ21

20年の区切りと次へのスタート



豊中市長を会長に、市内153団体が参加して、1996年に「とよなか市民環境会議」(以下、「同会議」とする。)が発足。1999年に地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ21」を策定しました。その後、同会議から自立し、NPO法人となったのが当団体です。

当団体は、同会議と連携し、市民・事業者・行政の協働で、豊中の環境保全活動に取り組んできました。2016年度は、同会議の発足20年を迎えることから、同会議と当団体が協働で、記念行事の開催や20年間のあゆみをまとめた冊子を発行しました。また、2016年から2年間で、「第3次豊中アジェンダ21」の策定にも取りかかっており、当団体が事務局を担っています。

市民の活動が長期化する中で、メンバーの高齢化と世代交代、多様化する環境問題など、課題は多いです。しかし、20年を振り返る中で問題を整理し、新たな計画の策定を通して、より良い豊中の環境づくりと、今後の活動の発展へつなげていきたいと思っています。



記念行事の様子

(社福) 豊中市社会福祉協議会

～継続的な被災地支援を～



4月に熊本地震発生した直後、当会の様々なネットワークを通じて下記の支援活動を実施しました。

- ・豊中市内各所で街頭募金活動
- ・先遣隊の派遣(現場でのニーズ調査)・熊本県菊陽町災害ボランティアセンター、大津町社協への職員派遣、運営支援・ひとり暮らし応援事業所ネットワークに呼びかけ、料水の提供・菊陽町、西原村へボランティアバス運行、現地ボランティア活動

また、東日本大震災から6年が経ちましたが高校生とボランティアバスで現地の方々との交流や東北支援物産の各イベントで販売など実施しました。

今後とも継続的な支援を展開していきます。

